

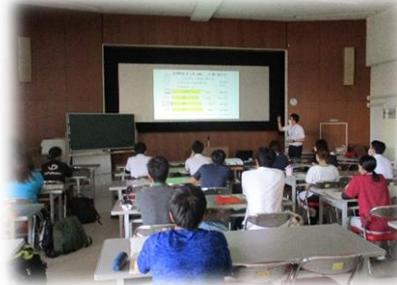
## 「小中学校教員対象 体験活動指導者研修」

- 期 日：令和5年7月28日（金）～令和5年7月29日（土）
- 開催場所：英彦山青年の家
- 参加者：21名（県内の小・中学校の教員）
- 目 標：①自然体験活動等の指導に関する知識・技能を習得する。

②学級づくりや集団づくりに役立つレクリエーションについて学び、学級経営に生かす。

### 講話 集団宿泊活動の事前指導の在り方

講話では、「体験活動で育む非認知能力とは何か」「充実した集団宿泊活動にするための方法」等、具体的な実践を説明しながら理解を図りました。



- ・体験活動がなぜ必要なのか、そしてただやるだけではなく、担当が意図をもって取り組むことが大切だとわかった。
- ・子どもたちの意欲を高めることが事前指導だと思っていたが、非認知能力を高める子ども主体の計画を立てることが重要だとわかった。

### 演習1 火おこし体験および野外炊飯体験～体験を日常に生かすために～



- ・実際に体験することで、様々な視点から指導する時の注意点など見つけることができた。
- ・役割分担等、達成感を味わわせる手立ては、普段の授業でも活用できることがあった。



班ごとにご飯の試食会をして交流しました！

### 演習2 集団作りに役立つレクリエーション

レクリエーションを通して、初めて会った先生方と楽しい時間を過ごすことができた。夏休み明けにクラスでやってみようと思った。

### 演習3 宿泊研修



キャンドルのつどいや星空観察など実際に体験することで子どもたちに体験させたい気持ちが強くなった。

#### 《全体を通して》

体験活動のよさや集団宿泊活動の進め方等、先生方に改めて知ってほしいという思いから当研修を実施しました。実際に、「初めて5年生を担当するので宿泊体験学習が不安」「子どもたちの気持ちを乗せるためのレクリエーションを学びたい」・・・様々な思いから本研修に参加していただきました。本研修を通して「体験活動を通じて初めての先生方と仲良くなれた！」という過程を体験することで、体験活動が子どもたちにとって重要であることに気付き、今後の学級経営に生かしていこうとする先生たちの意欲を感じることができました。

学校の教育活動支援として、今後も体験活動を子どもたちだけでなく、先生方にも提供していきたいと思えます。